



## 2018年 あけましておめでとうございます

野澤日出夫代表理事新年ご挨拶  
《いわてならではの幸福》

“ここちよく豊かに生き延びるために・・・”

明けましておめでとうございます。

2018年戌年の年頭に当たり、一言所感を述べさせていただきます。

環境パートナーシップいわてが創設されたのは、2002年9月でしたから、本年度16年目を迎えます。2004年NPO法人認可、2005年岩手県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、2006年環境学習交流センター立上げと運営を受託、2015年認定NPO法人として認定され、先人のご努力によって今日に至っています。

この間、県内外・国外にも多くのパートナーが生まれ、県民にとって住み良いいわての為に、地球温暖化防止活動推進員・環境アドバイザーと共に岩手県総合計画の重要な位置付けにある「環境基本計画」「地球温暖化対策実行計画」のもとに県内全域での環境活動を続けています。特に地球温暖化に対する意識や環境改善への取り組みは、急激に変貌してきている事は皆さまご

存知の通りです。その中で広く対応を考えながらの活動となりました。

昨年一年間ご尽力頂きました会員各位、ご指導賜りました県当局始め、協働頂きました県内外の関係諸機関・関係者の方々には、心から感謝申し上げます。

### 【地球温暖化への意識の高まり】

近年国際的に地球温暖化への施策は、国際連合加盟各国に於いて、その危機感の中で、短期間に高い目標を達成しようと言う動きが、特に環境先進国と言われる北欧、スイス、EU諸国で始まって居り、米国トランプ政権下においても、カリフォルニア州政府の環境施策は着々と「化石エネルギーゼロ」に向けて進んでいます。

戦後疲弊していた日本は、1950年の朝鮮動乱の特需を受けて1954年以降1974年頃まで化石エネルギーをベースに「高度経済成長」の時代となり「東洋の奇跡」とまで言われる復興を見せました。

しかしその反面、大気汚染・水質汚染・自然破壊・騒音・振動など全国的に深刻な被害が発生、今なお後遺症が残る事態となっています。

今日「経済優先」の施策が進められていますが、この轍を踏まない様に「経済」は、国民の豊かさの為にある事を忘れず「環境」との両輪で進めるべきと思って居ます。



### 【これからの環境目標】

その為には、2015年9月に国連で採択された「SDGs」（持続可能な開発の為の17項目の目標と169項目のターゲット）・COP21パリ協定の目標（今世紀後半でCO<sub>2</sub>ゼロ・化石燃料ゼロと同意）は、先送り出来ない案件であり、地球上の生物が急激に種の数が増減する中で、生物の多様性を維持するためにも、CO<sub>2</sub>削減は必須、その為に行動を起こさなければならない事は、「生物多様性の維持・保全・再生」「持続可能なエネルギーへの変換」と、「ゼロエネルギー住宅による省エネルギー」の三つに集約されると思います。

### 【環境王国いわてが目指すもの・新たな革命】

多様なバイオマスや、自然豊かな恵み・環境を持つ岩手こそ、確実に人口が減少する中で、魅力ある生物多様ないわての自然と共に、持続可能な再生エネルギー100%以上・有機的な食料生産100%以上を、ゆとりをもって達成でき、将来生き残る事は充分可能であり「環境王国いわて」は、正に手に届く範囲にあります。

化石燃料依存の従来産業の仕組みも、革

命的に変換せざるを得ない時代となり、短期間で最終目標に向けた施策を、バックキャストで段階的に進め、化石エネルギーゼロ産業を達成する必要があります。2040年にはガソリンスタンドは消えると言われていて、既に先進的な産業では変革が始まって居り、新たな産業革命が起こりつつあります。

達増拓也知事は、昨年の年頭訓示で「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という宮沢賢治の言葉が広く共有されている岩手ならではの幸福というものをともに考えていきましょう。と述べて居られます。

県民の経済のみによる豊かさから、心の豊かさを目指すもので、正に我々NPOが常に主唱してきた「心地よく豊かに生き残る社会」をゴールとするものであり、県民全てが持続可能で心地よい豊かなコミュニティーを目指すことであります。

米国トランプ政権下で敢然として独自環境政策を進める、カリフォルニア州政府の様に、経済やしがらみに左右される政権の施策に寄らず、岩手独自の持続可能な豊かさを享受できる「いわて県民全ての幸福」を将来目標に置いて、強い決意で掲げる環境方針と施策を期待しています。

### 【連携と広域展開】

本年も県内4地域の県広域振興局や自治体・NPO・諸活動団体とのパートナーシップを強化し、理事スタッフ一同「認定NPO」としての自覚を持って、全ての活動において「安全」を第一とした広域な活動、特に被災された沿岸地域住民の心と環境の支援にも意を尽くしつつ、活動展開を図る所存であります。

本年も一層のご支援・ご鞭撻・ご協力と皆様のご健勝・ご発展をご祈念申し上げ、人との関わりの最も長い動物である犬、その成年年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 環境パートナーシップいわて

### 今年の予定行事

現段階で確定している行事をお知らせします。皆さまの予定にぜひお入れ下さい。

#### I 海岸林再生事業

被災された地元の方々の熱い思いから震災で失われた根浜海岸防災林の再生に向け、昨年3月21日に種子を蒔き、苗を育てる活動を実施してきました。今年はこの苗を根浜海岸周辺に植樹するイベントを開催します。

○3月21日(水・祝日・春分の日)

海浜植物の植栽イベント

植樹に先立ち樹木の下を支える海浜植物(ハマナス、ハマボウフウなど)の植栽を行います。

県立大学島田直明先生のご指導のもと育てた海浜植物約200苗を植樹します。

- ・場所 根浜海岸(集合場所 宝来館)
- ・開催時間 午前10時～



(昨年3月21日のプレ植樹祭の様様)

○6月2日(土)

植樹祭

海浜植物の植栽をうけ6月には根浜海岸にて植樹祭を開催します。

#### II 市民公開講座

5月にはキリバス共和国名誉領事・大使顧問のケンタロ・オノ氏をお迎えし地球温暖化により国の消滅に瀕するキリバスの現状をお知らせする市民公開講座を開催します。

○5月12日(土)

10:30~12:00

場所: 岩手県民情報交流センター アイーナ5階 501会議室

仮題「国がなくなる!キリバス共和国と地球温暖化」



キリバス共和国名誉領事  
大使顧問のケンタロ・オノ氏

#### III 第15回通常総会

○6月24日(日)

アイーナ4F・アイーナスタジオ

平成29年度事業報告・決算報告・平成30年度事業計画・活動予算など

関連行事は後ほど別途お知らせします。

#### IV 共催事業

県南広域振興局保健福祉環境部が主催し環境パートナーシップいわてが共催する環境交流フォーラムが2月に開催されます。



○2月14日(水) 13:30~16:00

・場所 奥州市江刺総合支所多目的ホール

□特別鼎談

テーマ 東日本大震災津波からの自然環境に係る復興などについて

・環境パートナーシップいわて代表理事  
野澤 日出夫 氏

・県南広域振興局保健福祉環境部長  
藤尾 修 氏

・IBC 岩手放送 アナウンサー  
川島 夕貴 氏

□パネルディスカッション

テーマ 多様な主体が連携した自然保護活動の推進について~マツムシソウの保護活動支援をとおして~

・千貫石地区生物多様性支援隊隊長  
高橋 正美 氏

・岩手県立大学総合政策学部准教授  
島田 直明 氏

・NPO 法人奥州・いわて NPO ネット理事長  
菅原 恵子 氏

・株式会社デンソー岩手環境担当  
藤原 純子 氏

・金ケ崎町生活環境課主査  
千田 由紀子 氏

## Vその他

○「不都合な真実2」上映のお知らせ

1月20日(土)~2月2日(金)までフォーラム盛岡(盛岡市大通2丁目8-14 MOSSビル)にて不都合な真実2の上映が

行われます。2006年の第一弾「不都合な真実」はアル・ゴア元アメリカ合衆国副大統領が主演しノーベル平和賞が授与されるきっかけとなりました。あれから12年、世界の温暖化対策は進むどころかアメリカ大統領のトランプ氏がパリ協定からの離脱を表明するなど混迷を深めるばかりです。地球はかつてないほどの危機に瀕しています。エコムーブメントを巻き起こしたアル・ゴア氏が再び私たちに訴えます。



○環境イベントポータルサイト

BLUE SHIP のお知らせ

地球温暖化防止のための活動を行う団体などで独自のホームページをお持ちでない団体の活動を支援するポータルサイトにBLUE SHIPがあります。サイトに登録すると各団体の行事を全国の仲間に向け発信することができます。詳しくは同封のパンフレットをご覧ください。

○環境パートナーシップいわて会員募集

「いわての環境をよりよいものとし未来世代に継承する」この理念のもと環境パートナーシップいわてでは各種の環境保全活動を行っています。会員募集中です。入会ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

**編集後記** 第29号は2018年新年号として野澤日出夫代表理事のご挨拶、今年の抱負を巻頭としました。今年も会員の皆さまのご理解、ご支援の下に各種事業を進めてまいります。環境パートナーシップいわての活動をより良いものし、県民の皆さまにも賛同いただける活動を展開するため、皆さまからのご意見をお待ちしています。今回は29年度会費3,000円未納の方への会費納入もお願いしています。また、寄付についても宜しくお願ひいたします。寄付は1口3,000円にてお願ひ申し上げます。

〒020-0124 盛岡市厨川5-8-6 TEL:019-681-1904 E-mail: kanpai@utopia.ocn.ne.jp

ニューズレター第29号 平成30年1月1日発行

編集: 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて マネジメント・ガバナンス委員会